

# PartnerScope for Corundum Corp.

パートナー探索を数週間から数分へ

## 課題

Corundum Corp.は10年以上にわたり、オープンイノベーションとベンチャービルディングの専門性を構築してまいりました。しかし、パートナー探索は依然としてボトルネックです—データベース検索、ウェブ調査、経験と勘による適合性評価、優先順位変更時の再調査。

現状：顧客1社あたり100～200時間（平均150時間）×¥10,000 = **¥1,500,000**

## ワークフロー

業務	現在	導入後
要件整理	手動インタビュー	AIガイド会話（10分）
パートナー調査	DB・ウェブ検索	AI統合検索（5分）
候補評価	Excel・勘	多次元スコアリング（10分）
修正対応	再調査	即時反映（2分）
合計	100～200時間	1時間未満

1. ディスカバリーチャット — AIがパートナータイプ、必須要件、成功基準、注意点を抽出。コンサルタント主導または顧客セルフサービス（事前にリンク送付）。

2. 検索 — データベースとウェブを同時検索、想定内外のパートナーを発見。

3. 評価 — 20社を設定可能な評価軸でスコアリング（重み付け調整可能）。

4. リファインメント — 結果を見ながら仕様を絞り込み。重み付け調整、候補除外、追加検索—最初からやり直すのではなく、学んだことを積み重ねる。

## コンサルタント向けQ&A

**Q: AIが重要な点を見落とした場合は？** A: 顧客への提出前に必ずレビューいただきます。AIは候補を生成し、最終判断はコンサルタントが行います。

**Q: カスタマイズできますか？** A: 可能です。評価軸と重み付けは顧客タイプごとに調整できます。

**Q: 機密性の担保は？** A: 顧客情報はセッション内に留まり、AIモデルの学習には使用されません。

**Q: コンサルタントの業務価値は下がりますか？** A: むしろ向上します。データ収集の時間が削減され、戦略的アドバイス・関係構築に注力できます。

---

## 品質管理

コンサルタントの経験に基づく判断は失われません—適用先が変わるだけです：

- 検索前に要件を確認
  - 評価基準と重み付けを調整
  - 他ツール（Gemini、OpenAI等）と比較検証
  - 業界知識に基づき最終判断
- 

## 顧客への納品物

- 適合理由を付した企業プロフィール
  - 信頼度付き多次元スコア
  - 強み・懸念点・推奨アクション
  - 透明性のある評価手法
- 

*PartnerScope* — イノベーションのスピードでパートナーを発見

東京大学リサーチ 2026年